

やすらぎ加賀通信

第137号 2021/3/22

ブログ更新中 見てね!

かもまるくん
ですっ。



いよいよ令和2年度も残りわずかとなりました。残念ながら、まだまだ新型コロナの影響で不自由な生活を強いられ、不安な毎日を送らざるを得ない状況ですが、メリハリのある対策をしつつ来る春の訪れを楽しみましょう。

今年度は教室に新たにスクールカウンセラーも配置され一層支援の充実が図られましたが、研修会やフレンドシップ事業など殆どの活動が中止となり、残念な一年となりました。4月からは少しずつ活動を始めて行く予定です。



加賀聖城高校のすぐそば、熊坂川べりの桜の開花が間近です!

来年度も、どうぞよろしくお願いたします。

相談状況 (3月は19日現在)

| | 来室相談 | 訪問相談 | 電話相談 | 合計 | 通室生徒 |
|-----|------|------|------|-----|------|
| 4月 | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| 5月 | 2 | 0 | 5 | 7 | 0 |
| 6月 | 5 | 1 | 4 | 10 | 0 |
| 7月 | 5 | 3 | 1 | 9 | 0 |
| 8月 | 1 | 0 | 7 | 8 | 0 |
| 9月 | 11 | 0 | 10 | 21 | 0 |
| 10月 | 3 | 7 | 9 | 19 | 0 |
| 11月 | 4 | 3 | 2 | 9 | 0 |
| 12月 | 6 | 6 | 3 | 15 | 0 |
| 1月 | 2 | 5 | 3 | 10 | 0 |
| 2月 | 7 | 5 | 0 | 12 | 0 |
| 3月 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 49 | 30 | 45 | 124 | 0 |
| 昨年度 | 122 | 95 | 31 | 249 | 1 |

翔子先生からのお便り

こんにちは、スクールソーシャルワーカー（SSW）の星野翔子です。前回はスクールソーシャルワーカーって何をする人？という内容でしたが、今回はソーシャルワーカー何をする人？というお話です。ソーシャルワーカーとは、「社会の中で生活する上で実際に困っている人々や生活に不安を抱えている人々、社会的に疎外されている人々と関係を構築して様々な課題にともに取り組み援助を提供するソーシャルワークを専門性に持つ対人援助専門職の総称である。そのため、相談者本人だけではなく様々な課題の背景や周囲にある、家族、友人、その他の関連機関や環境にも働きかける。」と定義されています。

ちょっと難しくなりましたが、例えば高齢者の入居している施設には生活相談員というソーシャルワーカーがいて、入居したいという方の相談にのったり、自宅で生活していた時の介護の担当者から情報を集めてスムーズに入居できるように連絡調整をしたり、入居している高齢者が施設でどんな生活を望んでいるか話を聞き環境を整えたりしています。

スクールソーシャルワーカーも、一人で活動しているわけではありません。生徒さんがよりよい学校生活を送るために、様々な課題に対してそれぞれの関連機関と連携をして協働しています。「これはスクールソーシャルワーカーに相談すべき内容なのかな？」と迷うこともあるかもしれませんが、今まで相談があった事例では必ずどこかの機関につながり、良い方向に向かっています。

最近の教室では・・・

令和二年度の活動報告集「教育相談概況」
ができました。



本年度購入図書の一部紹介です



花壇では、昨年11月に植えたチューリップ達が元気に芽を出し成長しています。

隣の畝には、今月グラジオラスの球根を植えました。

プランターでは、冬を越したイチゴの葉が元気です。



アッキーのつぶやき

やすらぎ加賀教室 SV (スーパーバイザー) 土田晶子先生

親子の信頼関係について



「何も言ってくれないんですよ。だから心配なんです」「何考えているんですかね。聞くと怒るし・・・」という子供のお話を親御さんから度々お聞きすることがあります。親御さんから急かされて出てくる子供の言動は、時として本心と裏腹のこともあるようです。子供の表面的な言動に一喜一憂して親御さん自身の心の状態が不安定になっていることもあります。子供は「自分で何とかしていくしかない」ことを十分に知りながら、どうにもできないでいるのです。その辛さに一緒に親はただ傍らにいてあげて欲しいのです。助言や説教ではなく。心を話してもらうには時間が必要かもしれません。何もしてあげられなくても、黙って感情を共有することで時間がかかっても、子供は自分に向き合う力がついてくると私は信じています。親子の温かい信頼関係こそが大切なように思います。

土田晶子先生には、当教室の運営に実に長きに渡って携わっていただきましたが、今年度をもってお別れとなりました。貴重なご指導をいただき、本当にありがとうございました。先生のカウンセリングに救われた生徒や保護者、教員など大勢いたことと思います。今後もますますご活躍されますよう、応援しています。